

アクセスしたウェブを 自動的に記録。 URL管理ツール ウェブクイックは 使えるぞー！



最終回
Web Quick 編

illustrator : Kaori Takahashi



Web QuickはURLを自動記録してくれる便利ソフト。



Web Quickは本誌付録CD-ROMに収録されています。
収録先：Mac Web Quick
WIN WEBQUICK

🌀 ダウンロードしたら変なソフトが一緒に付いてきた！

それは、そろそろ家のまわりのニャンコ（猫のことね）たちも騒がしくなるうという2月の終わりのころであった。

律儀にも、いまだにMacintoshを使い続けている私であるが、「昨今の状況からみると、こりゃ～もWindowsに行くしかないかな。でもデスクトップデザインはやっぱMacintoshのほうがいいし……」なんて心揺れながら某メーリングサービスをながめていたのである。

と、そこに「NowUtilities (<http://www.nowutilities.com/>) がオンラインでバージョンアップサービス」なんていう記事が……。そう言えば、ずいぶん昔に買ったソフトだが、あれは確かに便利だったなあ。いっぱい機能があって、そのうちのいくつかはOSのバージョンアップでコントロールパネルに吸収（アイデア取り込み？）されちゃったけど、こんな使い勝手のいいユ

ーティリティってWindowsにはないよな、と思出す（もはやあったりして……？）。

ちょいと暇だったせいもあって、さっそくブラウザを立ち上げて「NowUtilities」の期間限定試用版をダウンロードしに出かけたのであった（う～む、タダの物にはとりあえず手を出すというお得意のパターン）。

少し大きめのファイルをダウンロードして伸張してみると、お目当てのNowUtilitiesが入っていたのはもちろんだが、なにやらオマケらしき別のソフトが……ん？ こりゃなに？ という具合に出会ったのが、今回紹介する便利ユーティリティ「Web Quick」なのである（その後、原稿を書くために再びここに出かけてみたが同梱したパッケージはどうやら無くなったみたいなので、今後は直接「Europa Software (<http://www.europasoftware.com/>)」に出かけたほうがよさそうだ）。

（編集部注：Web Quickは本誌CD-ROMに収録されています）。

① 使い込んでみると意外に便利

改めてファイルをダウンロードしようと Europa Software のホームページに出かけてみると、なんとそこにはちゃんとWindows用のソフトも用意されているではないか！うーん、Windows環境だとどう動くんか？とは思ったが、とりあえずMacintosh版をダウンロードしてみることにして、Macintoshのロゴをクリックする。画面の上のほうに「CLICK HERE: DOWNLOAD YOUR FREE TRIAL COPY NOW!!!」というバーがあるので、宣伝コピーを読むのもそこに、これをクリック。するとお試し版ダウンロードのためのフォームが出てくる。

ダウンロードのための必須記入項目である名前とメールアドレスをタイプし、WindowsかMacintoshかを選択したのち、ビジネス用か家庭用か、より詳しい情報が欲しいか、なんていう質問に答えたらダウンロード開始。

ちなみにこのソフト、対応しているブラウザはMacintosh (68020以上)用はNetscape Navigator 2.02以降かMicrosoft Internet Explorer 2.0.1以降、Windows95 (486以上)あるいはNT4.0用はNetscape Navigator 2.0以降かMicrosoft Internet Explorer 3.0。ま、ぶっちゃけて言えば、比較的新しいIPCとブラウザのセットであれば大丈夫と言っていいだろう(こうやってアップグレードの嵐にのみこまれていくわけだけど……)。

例によってダウンロードしたファイル(約1.1MB)をStuffIt Expanderで伸張すれば、インストーラーがコンニチハ。おかげでインストール作業は簡単だ。

さてこのソフト、どういうものか？簡単に言えばメニューバーにある「ウィンドウ」のさらに右の部分に常駐するプルダウンメニュー形式のプラグインソフトである

(という言い方をしても、Macintoshユーザー以外にはチンプンカンプンかもしれない)つまり、使う時にはメニューバーの上のWeb Quickアイコンをクリックし、そこで出てくるプルダウン&階層式のメニューを選択するという形で、どんなプログラムの中からもウェブページを呼び出すことができるというウェブページのランチャーなのである(これだと分かる?)

では実際にどんなことができるのかというと、これが結構たくさんある。

まずはアクセスしたウェブページを自動的に記録してくれる機能。ほとんどのブラウザにもこの手の機能は付いているが、実際にはほかのサイトに行ってしまうと「Go」メニューの下にあった以前のウェブインデックスが消えてしまい、戻れなくなってしまふ。またブラウザを終了してしまってもおんなじだ。

「じゃあブックマークに付けておけばいいじゃないか」と考えるかもしれないが、すいすいネットサーフィン(死語)している最中に、いちいち全部のURLにマークを付けるような面倒なことはやってられないのが現実。そこんところ、Web Quickの「Recent Web Pages」は過去に訪れたURLを最大1000まで記録、しかもブラウザを終了したあとも保存しておいてくれるという優れモノなのである(【図1】)。

さらに、これらのURLをちゃんとサイト名で管理し、サブメニューで各々のページまで表示してくれるという機能もある。ただし、サイト名優先の表示にしておくと、ウェブをブラウズしているうちにやたらにこのサイト数が増えてしまい、だら〜と長いファイルが表示されてしまうので、プルダウンの一番下にある「Preferences」で「Main Menu Contains」のトグルを「Topics」にしておいたほうがいいだろう。ここを開いたついでに「Menu text font」を日本語対応にしておくことも忘れずに！(【図2】)



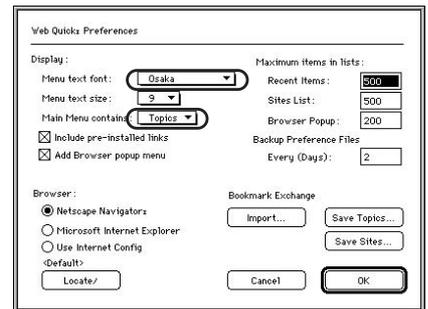
Europa Software

URL <http://www.europasoftware.com/>

ここからWeb Quickの試用版がダウンロードできる。



【図1】過去にアクセスしたURLをすべて保存

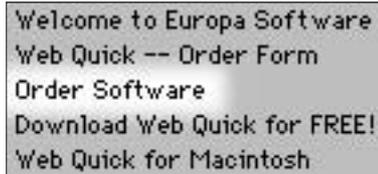


【図2】

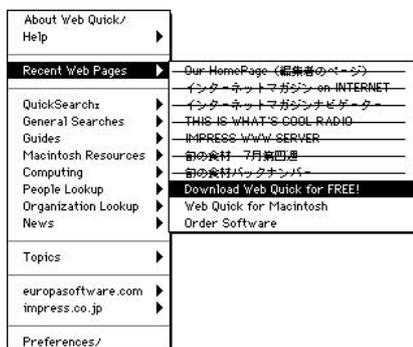
「Menu text font」で日本語のフォントを選択しないと、日本語表示がされないのに注意

StuffIt Expander：ドラッグ&ドロップで圧縮ファイルを解凍できるマッキントッシュ用のソフト。本誌付録CD-ROMに収録。

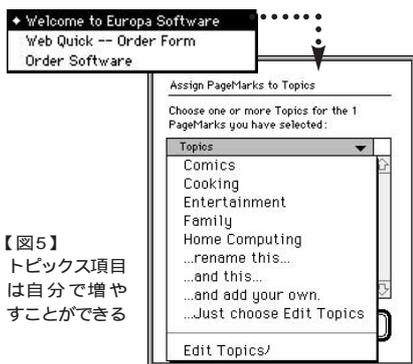
① 収録先：Mac StuffIt Expander。



【図3】
上が英文フォント「Times」を使用した場合。下が日本語フォント「Osaka」を使用した場合。日本語フォントでは、アンダーラインが付かない



【図4】
「Delete」を押したまま、マウスをずるずるっとドラッグすれば、複数のウェブ名が一度に消せる



【図5】
トピックス項目は自分で増やすことができる

🌀 ブックマークの編集がらくちん

さらにさらに(ちとしつこい?)いえば、いくら多いといっても、1000のURLは順次古いものから消えていく運命である。が、そこはよくできたもので、この中でずうっと記録しておきたいものについては簡単な操作で半永久的にキープすることができる。

どうやるのか、というと、このソフトで最も役立つと思われるブックマークの編集機能を使うのである、っていうと、「そんな普通のブラウザにも付いてるじゃないか」と思うかもしれないが、こいつのすごいところは前にも書いたように、とりあえず全部のURLを保存してあること。リストの中から「これぞ」と思うURLをクリックしておいて、そこでスペースキーを押すだけ。これでそのURLは「Sites」のサブメニューの上位にドメインネームとともに記録される(このサブメニューに実際のウェブページが収録される)。

しかし、問題がないわけでもない。というのは、通常の英語のフォントであれば、スペースキーを押した段階でウェブのページ名のところが「アンダーライン」され、これで確認ができるのだが、日本語環境で利用されている「Osaka」フォントではアンダーラインが出ないのである(【図3】)。とはいっても、問題のウェブページがちゃんと記録されるのは間違いないので心配はないんだけど。

ところで鋭い読者は、「これまでにしかけたURLをぜんぶ記録してるんだったら、こりゃ大変な量になるはず。そんなにでかいリストを毎回見せられたんじゃ、たまらん〜」と考えるだろう。もちろん、間違えて飛んでしまったページや、見てはみたもののサイターのページもあるだろう。そんな時にはそのページの記録を消してしまえばいい。

「Recent Web Pages」で消したいウェブ

ページ名のところにマウスを置いたら、「Delete」キーをたたく。すると、その箇所にいわゆる「字消線」が入る。リストのあるブロックを連続して消したい場合には、そのままマウスで消したいウェブ名の上をドラッグすればよい(【図4】)。間違っただけで「字消線」を入れてしまった場合には、再度「Delete」キーを押せば、もどおりに復帰させることができる。

ただし、こういった作業をやっている最中に変なところでマウスクリックを離してしまうと、ブラウザが勘違いして、たまたまポイントされていたページを表示してしまうので、マウスはボタンを押したままでメニューバーのところまで戻るのが安全。

🌀 トピックリストを作る

さてこのブックマーク編集、これだけでは終わらない。もっと便利なのがトピックスごとにブックマークを登録してしまう機能だ。

「こいつ、キープね」と思うウェブ名のところにポインターを持っていき、これが反転している間に「T」をタイプすると、ウェブページ名の頭に「T」マークが付く。

ここでマウスをリリースすると「Assign Pagemarks to Topics」というダイアログボックスが出てくる。この中にあるグレイになった「Topics」というメニューを開くと、中にあらかじめ用意されたトピックス項目が出てくる(【図5】)。

もし今選択したウェブページを入れるべきトピックス項目があれば、それを選択してOKボタンを押す。これだけで登録は終了だ。Web Quickのプルダウンメニューからそのトピックス項目を選んでみると、登録したウェブページが出てくるはずである。

もちろん、自分なりのトピックス項目を作りたいという気にならないはずがないから、そういう場合には、グレーの「Topics」

をプルダウンしたときに出てくる「EditTopics」で新しいトピック項目を作ってしまう。あるいはWeb Quickのレベルからこれを選ぶこともできちゃうのである。

使ってみて分かったのは、ずら～っと並んだ過去のアクセスリストを眺めながら同じ感じだなと思われるウェブページにどんどん「」マークを付けていき、これを一気に同じトピックス名で登録してしまう、ってなことが能率的ということ。こうやると簡単にジャンル別のブックマークリストを作ることができるというわけ。よほど几帳面か、職業サーファーじゃないとこんなことやらないような気もするが、こうやって溜め込んだお勤めブックマークを友達同士で交換するというのもいいかもしれない。

🌀 小技の利いた機能もいろいろ

Web Quickには、これ以外にもいろいろと使える機能が備わっている。

例えば、「QuickSearch」「Guide」「Computing」「News」など、あらかじめ主要なウェブ上のリソースのURLが組み込まれている。ただし、米国産だけあって登録されているのは全部英語のページのみだけ……。

ま、これは仕方ないとしても、ウェブサイトの都合でページのURLが変わってしまうことがちょくちょくある。そうなるとう古いページリストは意味がなくなってしまう。

残念ながら「この部分だけを編集」とは出来ないの、そういう場合には新しいバージョンをEuropa Softwareから再度ダウンロードすることになる。実際、ここではちょくちょくバージョンアップを行っているようで、私もやってみたらURLのアップデートされたファイルが入っていた。

ダウンロードするのが面倒だったらこの際、プリセット部分を非表示にしてしまうという手もある（プリセットメニュー部分

を「Preferences」の設定で表示・非表示を選択できる）。そして、トピックスの項目の中に自分でURLを設定するのが正しい使い方みたいだ。

これ以外にも、ブラウザ内でボタンを押したままにしておくと、通常出てくる「back」や「forward」といった機能と一緒にWeb Quickのプルダウンメニューが開いたり、Web Quickでページを選択したあと、「Option」キーを押しながらマウスをリリースすると、これまでとは別のウィンドウでそのウェブページを開くという小技もある。また、ウェブのリストをクリックしながら「S」をタイプすると、そのページのURLと最後にアクセスした日時が表示される……といった具合に機能盛りだくさんなのである。

🌀 オンライン登録は簡単にできた(らしい)

というわけで、最近見つけた便利グッズの中でもなかなか使えるベストなやつ、というのが私の評価。つまり、使い続ける気は十分ということだが、もちろん、こんな便利なものがFreeであるわけがない。当然、試用版、しかも15日間の期間限定付きである。となると購入ということになるが、さて、このソフトのお値段は……29ドル95セント！現在のドル相場では4,000円に満たない金額だ。う～む、これは安いんじゃないかい？

確かに高いものじゃないが、しかし、銀行に出かけてマネーオーダーを作ってもらって郵送というのも面倒だし……と思う人も多いだろう。そこはよくできたもので（と、こう書いていると、なんだかセールスマンになってしまったような気もするが）、ブラウザのセキュアモードを信頼しさえすれば、クレジットカードで決済できてしまうのだ。

Web Quickのメニューから「About Web Quick」のボタンを選択して、「Buy Now」ボタンをクリックするか、「Order Software



簡単にブックマークの作り替えができるのが魅力。



Web Quickは29.95ドル払って使い続ける価値アリのおすすめソフトだ。



製品版の登録はEuropa Softwareのホームページからできる。

(<http://www.europasoftware.com/buy/order.html>)」のページにアクセスして「Credit Card Click Here to Order Online」をクリックし、セキュアモードに入る。出てくるオーダーフォームに住所や氏名、クレジットカード番号などの必要な項目を入力してボタンを押せばオッケー。

これだけで手続きはおしまい、ちょっと待っているうちに、どうやらWeb Quickの15日期限のロックが外され、正規の製品として利用できるようになってしまった。

こんな具合に、まったく拍子抜けで終わってしまったオンラインショッピングだが、実はこの原稿を書いている段階でまだクレジットカードの口座引き落としのお知らせが届いていない。だから、ちょっと心配がないわけでもない。けど、ま、ここまで来たからにはウェブのセキュアトランザクションを信じたい、とインターネットと一蓮托生モードのワタシである。

◎ ところで今回は最終回

さてさて、本誌が創刊された94年以来、長らく続いてきたこの連載。今や当たり前となりつつあるISDN回線の自宅導入ドキュメントを第1回で開始してから、今回ではや28回目となってしまった。

その間、他に先駆けてISDNの同期接続に挑戦したり、4月号でもとりあげられた“インターネットのへそ：NSPIXP”探検などの先進的寄り道（ええ？）をしながら、立ち上がったばかりの数多くのプロバイダーへの加入申し込みとそのサービス実態の調査を執行したのであった（なんか大仰）。

また、時期尚早のPHS接続（これはどうにか4月に、ようやく32Kbpsのサービスが始まるとうところだ）に挑戦するなど、早とちりのドジを数々やらかしてきた。中でも一番の苦勞は、モデムの選定に苦しんで4か月の回り道をしたものの、今とな

っては今後の利用があまり見込めない3.4kHzアナログ専用線接続だろう。う～む、思い出すだけで疲れるう。

このほか、「Perman Surfer 波乗野郎」「ネットスケープヒストリー」、機械翻訳ソフト、「ページミル」「マクロメディアフラッシュ」といったアプリケーションソフトから、検索サービス、電子メール新聞といったウェブ上のサービス、さらにカラーザウルスといった評判の小物を使って「ホントに使えるの？」という視点から試用報告をしたりもした。

しかし、振り返ってみると、ISDNのダイヤルアップ接続で差を付けて喜んでた私も、今やインターネット環境はデジタルアクセス64の専用線モードである。なんだが、最近はずっかりゼータクな環境に慣れてしまって、どうやら読者の方々との距離が開きすぎたような気もする。

ときはまさに春。入学してくる人もいれば卒業していく人もいる、てな具合で、なにかと区切りにはよい季節。というわけで、今回をもってこの連載も一応の区切りとしたいと思う（それにいまだにMacintoshだし……あ、また言ってる）。

幸いなことに、これまで探検隊が行った探検のうち、そのエッセンスあるいは定番といえる企画は毎月アップデートされて、巻末の「インターネットデータファイル」の中にまとめられるようになった。また、そのほかの便利グッズや面白グッズなど、挑戦的(?)なテーマについても編集部全員が探検モードで日々誌面に盛り込むモードになってきた。う～ん、よしよし……。

というわけで、隊長の私としてはあとの誌面を編集長に任せ（おいおい）、サイバースペースの彼方へ、新たなる未開の地を求めて去って行こうと思っている次第。インターネットが最も面白かった立ち上がり時期のこの3年間、探検隊の活動を支援していただいた読者の皆さんに感謝しながらお別れすることにしたい。では再見！



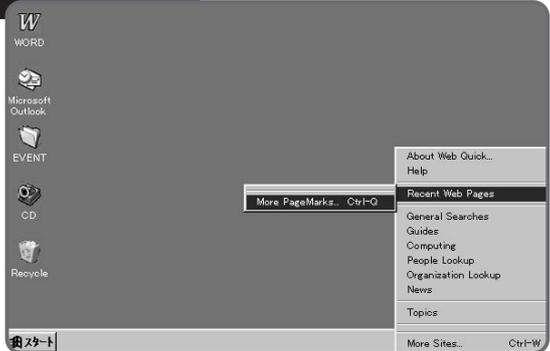
ここでひとまず、ひと区切り。ご愛読ありがとうございました。

Perman Surfer 波乗野郎：ホームページの自動録画ツール。製品版。
ネットスケープヒストリー：ホームページの同時録画用シェアウェア。
ページミル：ホームページ作成ツール。製品版。
マクロメディアフラッシュ：アニメーション作成ソフト。製品版。
デジタルアクセス64：30km以下の区間で使用できるNTTのデジタル専用線サービス。



画面下部、ステイタスバーの右側にWeb Quickのアイコンが常駐

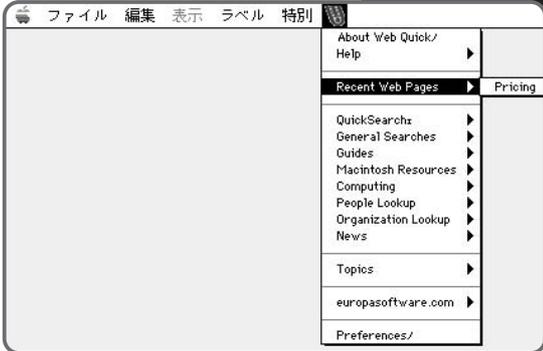
Windows



Web Quickの基本操作画面

Macintosh

画面上部、メニューバーにWeb Quickのアイコンが常駐

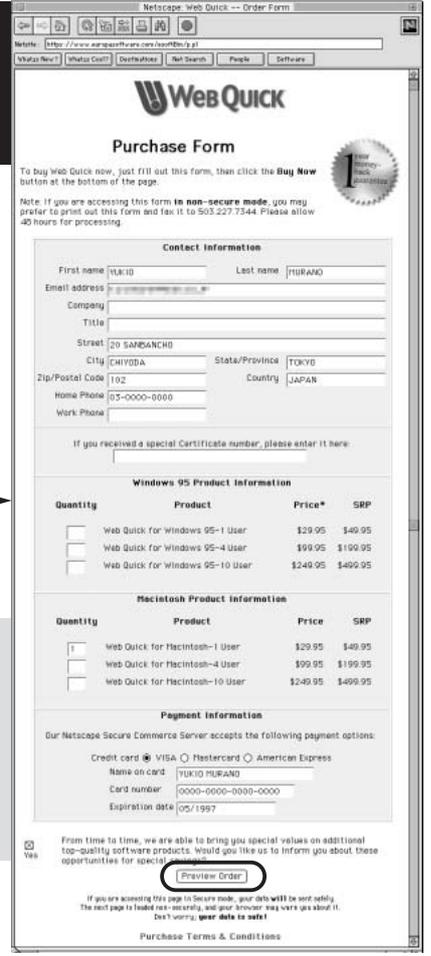
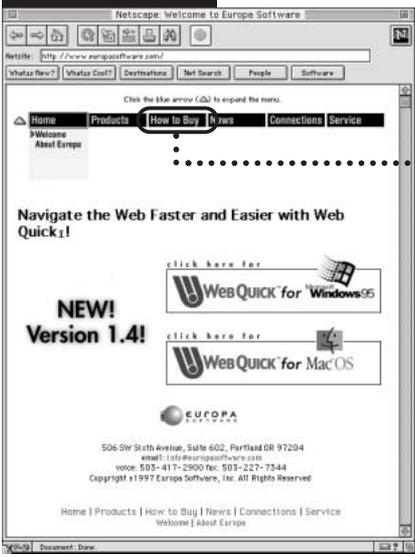


製品版使用登録方法

1 Web Quickの「About Web Quick」もしくは直接、Europa Software (http://www.europasoftware.com/) にアクセスして「How to buy」をクリック。

2 「2.Click Here To Place Your Order!」をクリックすると支払いページへ。支払い方法は「1.ウェブから注文してカードで支払う」「2.電話で注文してカードで支払う」「3.FAXで注文してカードで支払う」「4.マネーオーダー（国際郵便為替）」の4種類。今回は1で注文してみた。

3 必要事項を記入し「Preview Order」をクリックすると、オーダー確認の画面になるので「Send this order now」をクリックする。画面が変わり、シリアル番号が表示されたら「OK」を押して登録完了。数分後にシリアル番号を知らせてくれるメールが届く。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp